

①世論調査の変更点について（案） ※ルビは省略

資料3-1

令和4年度（前回）実施	令和7年度（今回）案	理由
《P.1 前文》 大阪市では、令和6年3月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした、大阪市地域福祉基本計画（令和6年度～令和8年度）*Aを策定しました。 地域には、年齢(性別)、障がいの有無など、さまざまな特性や背景を持つ人々が住み、それぞれ異なった世帯構成や生活環境の中で暮らしています。また、仕事や学校のほか、ボランティアや文化活動など、いろいろな理由で地域を訪れ、活動している人々もいます。このように、多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。 この調査は、「地域福祉」について、市民のみなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。	《P.1 前文》 【削除】 ～大阪市地域福祉実態調査を装った詐欺や不審な調査にご注意ください～ 【調査についてのお問い合わせ先】 大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課 「大阪市の地域福祉のあり方についての世論調査」担当まで 電話 06-6208-7970 FAX 06-6202-0990	（削除） 趣旨を依頼文のほうに記載 （追記） 詐欺や不審な調査についての注意喚起を追記
《P.1 前文》 （前略） ※ この調査票は、大阪市内に住居登録されている18歳以上の方の中から無作為に抽出した計8,000人の方あてに送付しています。 ※ この調査は、質問1から質問25まであります。それぞれの質問について、あなたのお考えに近い選択肢を選び、番号を“○”で囲んでください。（所要時間：約15分） （後略）	《P.2前文》 【回答にあたってのお願い】 ※ この調査票は、任意調査です。 ※ この調査は、質問1から質問31まであります。それぞれの質問について、あなたのお考えに近い選択肢を選び、番号を“○”で囲んでください。（所要時間：約12分） （後略）	（変更） ・オンライン回答方法の案内と併記になるよう調整 ・質問番号の枝番号を無くして通し番号に変更 （追加） 前回実施時に問合せの多かった内容を注記
《P.2》オンライン回答について 調査票の返送に代えて、オンライン（インターネット）で回答いただくこともできます。利用者登録は不要です。 ○ アクセス方法 ○ アクセス方法1 ①パソコン、スマートフォンなどで大阪市ホームページ< https://www.cityv.osaka.lg.jp/>へアクセスし、ページの一番下のほうにある緑色のボタン 『大阪市行政オンラインシステム（外部サイトへのリンク）』を押してください。 ②『手続き一覧(個人向け)』を選択してください。 ③『キーワード検索(けんさく)』欄に【世論調査】と入力して検索し、『大阪市の地域福祉のあり方についての世論調査（地域福祉にかかる実態調査1）』を選択してください。 ○ アクセス方法2（スマートフォン、タブレットなど） ・スマートフォンなどの場合、右側のQRコードを読み取っていただくことで回答できます。 ○ アクセス方法 ・直接【https://www.cityv.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000573074.html】と入力し、大阪市ホームページ「『大阪市の地域福祉のあり方についての世論調査』について」のページ中段『調査方法』の『大阪市行政オンラインシステム』を押してください。 ○ 調査票番号 （後略）	《P.2》オンライン回答について 調査票の返送に代えて、オンライン（インターネット）で回答いただくこともできます。利用者登録は不要です。 【削除】 https://lqpos.task-asp.net/cu/271004/ea/residents/portal/home ○調査票番号の入力 （後略）	（変更） オンライン回答方法の案内を簡略化
P.3 調査票目次 だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて P4 地域での支え合い・助け合いについて P6 地域福祉活動(ちいきふくしかつどう)について P9 災害への備えについて P14 相談支援体制の充実に向けて P17 地域における見守りの取り組みについて P20 虐待防止の取り組みについて P21 成年後見制度などの利用促進に向けて P23 あなたご自身のことについて P26	【削除】	（削除） 回答率が上がるよう質問までのページ数削減のため削除

令和４年度（前回）実施	令和７年度（今回）案	理由
質問１ 今、お住まいの地域について、「暮らしやすい」と感じていますか。（回答は1つ） 1 感じる 2 ある程度感じる 3 あまり感じない 4 感じない	【削除】	（削除） 回答傾向から地域福祉の観点での分析につながりづらく、また、過去の調査で傾向を一定確認できており、経年比較で変化が見られなかったため削除
質問１-１ 〔質問１で「１ 感じる」または「２ ある程度感じる」と答えた方にお聞きします。〕 お住まいの地域のどのような点に「暮らしやすさ」を感じていますか。（回答はいくつでも可） 1 近所に家族、親類がいる点 2 近所や地域とのつながりがある点 3 地域活動やボランティア活動が活発な点 4 福祉や医療サービスが充実している点 5 買い物や通勤・通学など日常生活が便利な点 6 静けさや緑が多いなど、環境がよい点 7 治安がよいなど、安心して住める点 8 公共施設や道路のバリアフリー化が進んでいる点 9 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実している点 10 その他（具体的にお書きください）	【削除】	（削除） 回答傾向から地域福祉の観点での分析につながりづらく、また、過去の調査で傾向を一定確認できており、経年比較で変化が見られなかったため削除
質問２ お住まいの地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。（回答はいくつでも可） 1 近くに家族、親類がいること 2 近所付き合いや地域とのつながりがあること 3 地域活動やボランティア活動が活発であること 4 福祉や医療サービスが充実していること 5 買い物や通勤・通学など日常生活が便利であること 6 静けさや緑が多いなどの環境がよいこと 7 治安がよく安心して住めること 8 公共施設や道路のバリアフリー化が進むこと 9 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実すること 10 その他（具体的にお書きください） 11 わからない	【削除】	（削除） 回答傾向から地域福祉の観点での分析につながりづらく、また、過去の調査で傾向を一定確認できており、経年比較で変化が見られなかったため削除
質問６ 大阪市内各区の小地域（おおむね小学校区）では、住民が互いに支え合うために、さまざまな地域福祉活動が展開されています。次の地域福祉活動のうち、お住まいの地域で実施されていることを知っているものはどれですか。（〇はいくつでも） 1 高齢者食事サービス （高齢者の孤立を防ぐためにおこなう食事サービス） 2 ふれあい喫茶などのサロン活動 （喫茶などを通じて地域で暮らす人たちが交流することができる場） 3 地域住民による日常的な訪問などによる見守り活動 4 地域防災（訓練や地区防災計画策定など）に関する活動 5 子育てサロン （身近な地域で子育ての悩みや楽しさを地域の方や親同士で共有できる場） 6 児童の登下校時の見守り活動 7 こども食堂＊1などのこどもの居場所づくりに関する活動 8 折り紙や昔遊びなどを通じた地域の高齢者とこどもとの世代間交流活動 9 市民後見人＊2活動 （家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動） 10 外国につながる市民＊3・留学生等について交流や支援をする活動 11 その他（具体的にお書きください） 12 すべて知らない	質問５ 大阪市内各区の小地域（おおむね小学校区）では、住民が互いに支え合うために、さまざまな地域福祉活動が展開されています。次の地域福祉活動のうち、お住まいの地域で実施されていることを知っているものはどれですか。（〇はいくつでも） 1 高齢者食事サービス （高齢者の孤立を防ぐためにおこなう食事サービス） 2 高齢者の健康づくりにつながる活動（百歳体操などの通いの場） 3 認知症の人の居場所づくりに関する活動（ちーむオレンジサポーターなど） 4 ふれあい喫茶などのサロン活動 （喫茶などを通じて地域で暮らす人たちが交流することができる場） 5 地域住民による日常的な訪問などによる見守り活動 6 地域防災（訓練や地区防災計画策定など）に関する活動 7 子育てサロン （身近な地域で子育ての悩みや楽しさを地域の方や親同士で共有できる場） 8 児童の登下校時の見守り活動 9 こども食堂＊1などのこどもの居場所づくりに関する活動 10 折り紙や昔遊びなどを通じた地域の高齢者とこどもとの世代間交流活動 11 市民後見人＊2活動 （家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動） 12 外国につながる市民＊3・留学生等について交流や支援をする活動 13 その他（具体的にお書きください） 14 すべて知らない	（追加） 高齢者の健康づくりに関する選択肢を追加 （追加） 認知症の人の居場所づくりに関する選択肢を追加
質問８-２ 地域福祉活動に参加した際、どのようなことを負担に思いましたか。（回答はいくつでも可） 1 時間が取られること 2 体力を使うこと 3 活動内容について相談できる人（機関）がないこと 4 一緒に参加する仲間がないこと 5 人間関係が難しいこと 6 気軽に参加しにくいこと 7 他人と接触する機会が増えること 8 その他（具体的にお書きください） 9 特にない	質問９ 地域福祉活動に参加した際、どのようなことを負担に思いましたか。（〇はいくつでも可） 1 時間が取られること 2 体力を使うこと 3 活動内容について相談できる人（機関）がないこと 4 一緒に参加する仲間がないこと 5 人間関係が難しいこと 6 気軽に参加しにくいこと 7 その他（具体的にお書きください） 8 特にない	（削除） コロナ禍の不安を問う選択肢であったため削除

令和４年度（前回）実施	令和７年度（今回）案	理由
質問８-３ どのような理由から、地域福祉活動に参加しなかったのですか（回答はいくつでも可） 1 時間がないから 2 健康や体力に自信がないから 3 活動があることを知らなかったから 4 活動の内容がよくわからないから 5 参加の仕方がわからないから 6 参加するきっかけがないから 7 一緒に参加する仲間がいないから 8 人間関係が難しそうだから 9 関心がないから 10 <u>他人と接触する機会を減らしたいから</u> 11 <u>その他（具体的にお書きください）</u> 12 特に理由はない	質問10 どのような理由から、地域福祉活動に参加しなかったのですか（回答はいくつでも可） 1 時間がないから 2 健康や体力に自信がないから 3 活動があることを知らなかったから 4 活動の内容がよくわからないから 5 参加の仕方がわからないから 6 参加するきっかけがないから 7 一緒に参加する仲間がいないから 8 人間関係が難しそうだから 9 関心がないから 10 <u>その他（具体的にお書きください）</u> 11 特に理由はない	（削除） コロナ禍の不安を問う選択肢であったため削除
質問８-４ どのような地域福祉活動がお住まいの地域で実施されていれば、参加したいと思いますか。（回答はいくつでも可） 1 日常の見守り活動 2 <u>こどもを支援する活動（こども食堂＊１やこどもの学習支援など）</u> 3 <u>子育てを支援する活動</u> 4 <u>高齢者を支援する活動</u> 5 <u>障がいのある方を支援する活動</u> 6 <u>介護者や介助者を支援する活動</u> 7 地域防災及び防犯などに関する活動 8 地域の高齢者とこどもの世代間交流活動 9 市民後見人＊２活動（家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動） 10 外国につながる市民＊３・留学生等について交流や支援をする活動 11 <u>地域住民の健康づくりに支援する活動</u> 12 <u>その他（具体的にお書き下さい）</u> 13 どのような活動でも参加したくない	質問11 どのような地域福祉活動がお住まいの地域で実施されていれば、参加したいと思いますか。（〇はいくつでも） 1 日常の見守り活動 2 <u>こどもを対象とする活動（こども食堂＊１やこどもの学習支援など）</u> 3 <u>子育て世帯を対象とする活動</u> 4 <u>高齢者を対象とする活動</u> 5 <u>障がいのある方を対象とする活動</u> 6 <u>介護者や介助者を対象とする活動</u> 7 地域防災及び防犯などに関する活動 8 地域の高齢者とこどもの世代間交流活動 9 市民後見人＊２活動（家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動） 10 外国につながる市民＊３・留学生等について交流や支援をする活動 11 <u>地域住民の健康づくりにつながる活動</u> 12 <u>その他（具体的にお書き下さい）</u> 13 どのような活動でも参加したくない	（変更） 支え手に限定した表現となっている文言を変更
質問９ （前略） ※ 寄付をする手段については、近年、インターネットを活用するなど多様化しており、質問９-１の選択肢で具体例を挙げています。また、寄付の目的（寄付先での使途）についても質問９-２で例示しています。次ページをご一読のうえ、質問10へお進みください。 「質問９で「１ 寄付をしたことがある」または「２ 寄付をしたことはないが、機会があれば寄付をしたい」と答えた方にお聞きます。」 質問９-１ どのような手段で寄付をしたことがありますか。寄付をしたことがない方は、どのような手段でなら、寄付をしたいと思いますか。（回答はいくつでも可） 1 <u>街頭での呼びかけによる募金</u> 2 <u>公共機関の窓口や店頭などに設置している募金箱への募金</u> 3 <u>銀行・コンビニなどでの振込み</u> 4 <u>給料からの天引き</u> 5 <u>クレジットカードなどの利用（ポイント利用などを含む）</u> 6 <u>インターネットを利用した寄付（クラウドファンディング＊５、ワンクリック募金＊６など）</u> 7 <u>寄付付き商品の購入</u> 8 <u>地域福祉活動団体（NPO＊７、ボランティア団体など）の会費を払う</u> 9 <u>現物の寄付</u> 10 <u>その他（具体的にお書きください）</u>	質問12 （前略） 寄付をするこも地域福祉の推進の一助となります。 寄付をする手段については、募金箱への募金、地域福祉活動団体（NPO＊７、ボランティア団体など）の会費を払うなどのほか、インターネットを活用したクラウドファンディング＊５、ワンクリック募金＊６など多様化しています。 寄付の目的（寄付先での使い方）についても質問13で例示していますので、ご一読のうえ、質問14へお進みください。 【削除】	（変更） 寄付手段についての例示を質問ではなく説明文に変更 （削除） 過去の調査で傾向を一定確認できており、経年比較で変化が見られなかったため削除

令和４年度（前回）実施	令和７年度（今回）案	理由
質問14 生活する上で困っていること、悩んでいること、または不安なことはどのようなことですか。（回答はいくつでも可） 1 あなたやご家族の健康のこと 2 日常生活のこと（食事づくりや買い物など） 3 家族に対する日常のケア（介護・看護など生活に必要なサポート）のこと 4 あなたやご家族の老後のこと 5 子育てのこと 6 こどもや孫の将来のこと 7 家族の人間関係のこと 8 地域での人間関係のこと 9 収入など経済的なこと 10 仕事のこと 11 土地や家屋、預貯金などの管理のこと 12 地域の治安のこと 13 地域の生活環境のこと 14 地震や洪水などの災害のこと 15 社会の仕組み（法律、年金や健康保険など）が変わること 16 困りごとなどを相談する人（機関）がないこと 17 孤独・孤立を感じていること 18 その他（具体的にお書きください） 19 特に困っていること、悩んでいること、または不安なことはない	質問20 生活する上で困っていること、悩んでいること、または不安なことはどのようなことですか。（回答はいくつでも可） 1 あなたやご家族の健康のこと 2 日常生活のこと（食事づくりや買い物など） 3 家族に対する日常のケア（介護・看護など生活に必要なサポート）のこと 4 あなたやご家族の老後のこと 5 子育てのこと 6 こどもや孫の将来のこと 7 家族の人間関係のこと 8 地域での人間関係のこと 9 収入など経済的なこと 10 仕事のこと 11 住まいの確保に関すること 12 土地や家屋、預貯金などの管理のこと 13 地域の治安のこと 14 地域の生活環境のこと 15 地震や洪水などの災害のこと 16 社会の仕組み（法律、年金や健康保険など）が変わること 17 困りごとなどを相談する人（機関）がないこと 18 孤独・孤立を感じていること 19 その他（具体的にお書きください） 20 特に困っていること、悩んでいること、または不安なことはない	（追加） 住まいの確保に関する選択肢を追加
≪P.17≫質問14-1 〔質問14で「18 特に困っていること、悩んでいること、または不安なことはない」以外の答えであった方にお聞きします。〕 令和２年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、それまで以上に、あるいは新たに、困るようになったこと、悩むようになったこと、不安になったことはどのようなことですか。 （回答はいくつでも可） （選択肢１～15までは質問14と同一） 16 困りごとなどを相談する人（機関）がいなくなったこと 17 孤独・孤立を感じるようになったこと 18 その他（具体的にお書きください） 19 困るようになったこと、悩むようになったこと、不安になったことは特にない	【削除】	（削除） コロナ禍の不安を問う質問であったため削除
質問16 生活に困りごとを抱えた方に向けて、相談支援員と一緒に考え、解決のお手伝いをする窓口が区役所に設置されていることをご存知ですか。（回答は１つ）	質問22 住いや仕事など、生活に困りごとを抱えた方に向けて、相談支援員と一緒に考え、解決のお手伝いをする自立相談支援窓口が区役所に設置されていることをご存知ですか。（〇は１つ）	（変更） 質問の趣旨（自立相談支援窓口の認知度）に沿って文言を変更
質問20 虐待を通報（通告）する場合の窓口であると知っている機関を選んでください。（回答はいくつでも可） 1 区役所（区保健福祉センター） 2 地域包括支援センター 3 総合相談窓口（ランチ） 4 障がい者基幹相談支援センター 5 児童相談所全国共通ダイヤル（１８９（いちばやく）） 6 児童虐待ホットライン（0120-01-7285（まずは一報、なにわっ子）） 7 こども相談センター 8 大阪市福祉局高齢者施策部介護保険課指定・指導グループ（施設職員などによる高齢者虐待） 9 大阪市福祉局障がい者施策部運営指導課（施設職員などによる障がい者虐待） 10 大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課（雇用主などによる障がい者虐待） 11 大阪市こども青少年局子育て支援部こども家庭課（施設職員などによる児童虐待） 12 その他（具体的にお書きください） 13 知っている通報（通告）先はない	質問24 虐待を通報（通告）する場合の窓口であると知っている機関を選んでください。（回答はいくつでも可） 1 区役所（区保健福祉センター） 2 地域包括支援センター 3 総合相談窓口（ランチ） 4 障がい者基幹相談支援センター 5 児童相談所全国共通ダイヤル（１８９（いちばやく）） 6 児童虐待ホットライン（0120-01-7285（まずは一報、なにわっ子）） 7 こども相談センター 8 大阪市休日夜間障がい者・高齢者虐待ホットライン（06-6206-3725（みんなであせごう）） 9 大阪市福祉局高齢者施策部介護保険課指定・指導グループ（施設職員などによる高齢者虐待） 10 大阪市福祉局障がい者施策部運営指導課（施設職員などによる障がい者虐待） 11 大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課（雇用主などによる障がい者虐待） 12 大阪市こども青少年局子育て支援部こども家庭課（施設職員などによる児童虐待） 13 その他（具体的にお書きください） 14 知っている通報（通告）先はない	（追加） 障がい者・高齢者虐待の休日夜間通報先を選択肢に追加
質問25 今までお聞きしたことを整理するために、あなたご自身のことなどをお聞かせください。 A 性別を選んでください。（〇は１つ） 1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない	質問31 今後の施策の参考とさせていただくため、あなたご自身のことなどをお聞きます。なお、答えたくない設問については、ご回答いただかなくて構いません。 A 性別を選んでください。（〇は１つ） 1 男性 2 女性 3 その他	（追加） 属性に関して、性別以外にも答えたくない質問が想定されるため、前文にその旨を追加 （削除） その他の選択肢を削除